



発行所

(一社)福島県電設業協会
発行人大槻博太
〒960-8114
福島市松浪町9-6
(福島県電設会館)
TEL (024) 533-6226
FAX (024) 533-6235
E-mail: info@fukudensetsukyo.or.jp
編集印刷 福島建設工業新聞社
福島市西中央2-59

謹賀新年
本年も相変わらぬご指導ご支援をお願いいたします
一般社団法人 福島県電設業協会

変化する課題に対応し
良質な電気設備を提供



一般社団法人 福島県電設業協会
会長 大槻 博太

新春を迎え、謹んで年頭のあいさつを申し上げます。

当協会の事業活動に対して、口頭より格別のご高配を賜り改めて御礼を申し上げます。

国際情勢の影響によるエネルギー危機や不安定な円安も含む諸物価の高騰が続く中で、資材価格の高止まり、特定資材不足や納入遅れ、技術者とともに加速度的な技能者不足など、業界を取り巻く状況も日々厳しさを増しております。

一方、適用3年目となる「時間外労働時間の上限規制」への対応も会員各社が様々な方策を講じながら手立てを模索しておりますが、まだ対応が整った状況にはありません。また、「現場労働環境

の改善」と「新規建設労働者の入職者の拡大」に向けて進められている「週休二日工事」は公共工事を中心に推進されており、大規模化する災害へ対応するインフラ整備等の防災減災化への取組みとともに、根本対策である気候変動への具体的な対応も求められており、先

きつつあるものの未だに道半ばであり、また引き続き災害への対応もあり県内インフラ施設もまだ復興の途上にあります。大規模化する災害へ対応するインフラ整備等の防災減災化への取組みとともに、根本対策である気候変動への具体的な対応も求められており、先

当協会では、他産業を上回る高齢化と若年入職者の減少や厳しさを増す受注環境の中で、昨年は、当協会インターンシップ事業で実績のある高等学校の生徒を対象に「電設業人材育成制度」を実施して、今後地元業界で活躍が期待される人材の顕彰を行いました。今後とも引き続き電設業を支える若手人材の地元定着を促していきたいと思

また、昨年度から連携して活動している「建設業協会、電設業協会、空調衛生工事業協会の3団体」が、県発注工事の「週休二日工事」「総合試運転調整期間」「工事監理のDX化」等の現状や課題について会員への実態調査

今年、具体的な事業活動は、高校生等対象の「インターンシップ事業」「女性技術者トークサロン」「1級電気工事施工管理技士試験準備講習会」「現場研修会」などの人材育成事業を中心に実施していくと考えています。さらに、建設を支援する技術として進化させる「建設DXデジタル技術」、特に設計団体等と連携して近い将来運用が期待される「BIM等」技術の習得や普及にも努めていく必要があると考えています。また、現場の働き方改革をサポートする「バックオフィスDX」などの積極的な活用により、社内全体として現場業務を支援していくことも必要であると考えています。

今年、大震災第2期復興・創生期間の5年目を終了して、次期の対策や予算へ移行する年です。復興再生拠点の整備など少しずつ復興への道筋がつか

これらも含めて、電気設備の整備や保守管理等の基本的な業務を通じて、県民生活や経済活動に直結する良質な電気設備を提供するという使命を果たしていきたいと思

また、昨年度から連携して活動している「建設業協会、電設業協会、空調衛生工事業協会の3団体」が、県発注工事の「週休二日工事」「総合試運転調整期間」「工事監理のDX化」等の現状や課題について会員への実態調査

今年、福島県が誕生して150年という本県にとつて非常に重要な年で、この節目の年に開催する「ふくしまステイネーションキャンペーン

今年も変化する諸課題に適切に対応しながら「県民に信頼される技術集団」となるよう、今後とも会員一同、技術力の研鑽に努めて参りますので、引き続きご指導ご支援をお願いいたします。

謹んで新年の御挨拶を申し上げます。

震災と原発事故から間もなく15年の節目を迎えようとしております。この間、県民の皆様懸命な御努力と国内外からの温かい御支援により、福島県は着実に復興への歩みを進めてまいりました。

年頭所感

昨年は、全国新酒鑑評会において、3年振りに金賞受賞数日本一に返り咲いたほか、東京2025デフリンピックでは、本県復興のシンボルである「Jヴィレッジ」においてサッカー競技が開催されるなど、明るい話題が続きました。

また、大阪・関西万博などを契機として、本県の復興状況や様々な魅力を国内外に広く発信することができました。



福島県知事

内堀 雅雄

共に創る福島の未来

このような中、避難地域では、特定帰還居住区域において、除染等が進められているほか、震災

これまで続けてきた挑戦の成果が目に見える形となって現れてきており、地方創生の実現に向け

課題が山積していることから、今後とも本県の復興・再生と「福島ならでは」の地方創生の実現に向け

ましては、令和8年度から第3期復興・創生期間がスタートします。このため、避難者の帰還や生活環境の整備、産業・生業の再生、風評の払拭と風化の防止などに取り組む

今年、福島県が誕生して150年という本県にとつて非常に重要な年で、この節目の年に開催する「ふくしまステイネーションキャンペーン

今年も変化する諸課題に適切に対応しながら「県民に信頼される技術集団」となるよう、今後とも会員一同、技術力の研鑽に努めて参りますので、引き続きご指導ご支援をお願いいたします。

後、55の国・地域で行われていた県産農林水産物の輸入規制が5つの国・地域にまで減少するなど、

一方で、原子力災害に伴う様々な課題に加え、緊急に進む人口減少など、いまだ複雑で困難な

また、地方創生、すなわち人口減少対策につきましても、昨年、「ふくし

今年、福島県が誕生して150年という本県にとつて非常に重要な年で、この節目の年に開催する「ふくしまステイネーションキャンペーン

今年も変化する諸課題に適切に対応しながら「県民に信頼される技術集団」となるよう、今後とも会員一同、技術力の研鑽に努めて参りますので、引き続きご指導ご支援をお願いいたします。

Panasonic LEDリニューアルが、経営に効いた。
コスト回収、約3年\*
職種・用途にフィット
業務を止めずに導入
iDシリーズ
一体型LEDベースライト

※従来蛍光灯器具FSA42001F VFN9とiDシリーズ40形5200lmタイプ(直付XLX450DHNT LE9)との比較。新電力料金目安単価:25円/kWh(税込) [家電公正取引協議会が発出した「新電力料金目安単価27円/kWh(税込/一般家庭用)」から消費税相当額8%を抜いた金額で算出。]年間点灯時間3000時間、従来蛍光灯器具の交換費用(器具代・ランプ代)含む。 パナソニック株式会社 エレクトリックワークス社 福島県営業所 〒963-8014 福島県郡山市虎丸町21-10 EME 郡山ビル6階 ☎024-939-7731

謹んで新年の御挨拶を申し上げます。

建設産業に携わる皆様には、社会基盤の整備や施設の維持管理はもとより、災害対応など、昼夜を問わない献身的な取組と御尽力に深く感謝を申し上げます。



福島県土木部長 矢澤 敏幸

### 復興、地方創生へ基盤整備

年頭所感

震災と原発事故から間もなく15年の節目を迎えようとしております。この間、県民の皆様懸命な御努力と国内外からの温かい御支援により、福

島県は着実に復興への歩みを進めてまいりました。昨年は、特定帰還居住区域において、早期の避難指示解除に向けた除染や、家屋の解体作業が進められたほか、大熊町や双葉町において商業施設

が整備され、町民の利便性が大きく向上するなど、これまで続けてきた本県の復興と地方創生に向けた取組を続けていくも、復興の進捗に伴って生じる新たな課題やニーズにもきめ細かく対応してまいります。

また、人口減少対策に必要があります。震災と原発事故からの復興・再生につきましては、令和8年度から第3期復興・創生期間

口減少のスピードをいかに緩やかにしていくかが重要です。様々なライフステージに応じた切れ目のない支援を行うため、県内の新婚、子育て世帯や本県への移住者等を対象とした住宅取得等への支援に加え、関係人口の創出拡大や移住・定住の促進、若者等の自立支援を目的とした県営住宅の提供などの取組を進めてまいります。

### 県土の安全安心に丸

(一社)福島県建設産業団体連合会 会長 長谷川 浩一



明けましておめでとうございます。福島県建設業協会の皆様には、お健やかに新しい年をお迎えのこととお慶び申し上げます。

また常日頃から貴協会におかれましては、建産連の目的遂行のため多大なご理解とご協力を頂いております。誠にありがとうございます。

さて、東日本大震災から15度目の新年を迎え、県内の被災した社会資本整備はほぼ完成し、県民の意識調査においても着実に復興の兆しが見えてきたとなっております。一方、昨年12月に公表された日銀福島支店短観では、県内全産業の業況判断は9月比でプラス2割ですが、建設業については同月比で横ばいと変わらざる今年建設需要をはじめ、社会・経済活動が活発化すると期待されま

は、引き続き貴協会をはじめ関係団体の皆様と連携を密にしながら、生産性向上、働き方改革、担い手の確保・育成等の諸課題に対応するため、賃金制の導入等の処遇の改善、女性技術者の入職促進、適正な元下関係の構築、老朽化したインフラの維持管理・更新分野における人材育成など積極的に取り組んでまいります。

今年も、現在福島県が誕生してから150年、東日本大震災と原発事故から15年という大きな節目の年に当たりま

「住生活基本計画」の5年目となる年でもあり、基本目標である「居住ニール」ことから、見直される全画の多様化や社会情勢の変化に柔軟に 대응する良質等、踏まえ、県計画の見直しに着手してまいります。

### 市町村、民間へ普及 ZEB化、木造・木質化 設計BIMの活用を深化

新しい年を迎え、謹んで新春の御挨拶を申し上げます。

協会の皆様には、平素より本県の建築行政の推進について多大なる御理解と御協力をいただき、誠にありがとうございます。

県有建築物において日促進工事の適用や総合試験調整期間の確保とともに現場の施工条件に合致した適切な工期設定の取組を進めてまいります。

また、設計や施工管理におけるデジタル化建設DXの推進は、生産性の向上とともに、品質確保の観点からも重要であることから、これまで新築・増築で実施してきた設計BIMの活用をさらに深めてまいります。

### 年頭あこむし

建設連といたしましては、

福島の安全安心に丸

福島の安全安心に丸

福島の安全安心に丸

福島の安全安心に丸

人と環境を明日へつなぐ、  
二ノテックのシステムエンジニアリンク

Engineering & Engineer LINK

**株式会社二ノテック**

NINOTEC 代表取締役社長 樽川 啓

本社 / 〒963-8577 郡山市島二丁目44-2  
TEL (024) 935-1700 FAX (024) 935-1706

支店 / 仙台 営業所 / いわき・福島・県南 出張所 / 南相馬  
https://www.ninotec.co.jp/

MITSUBISHI ELECTRIC  
Changes for the Better

空調・冷熱製品  
電材住設備製品、家電製品

**三菱電機住環境システムズ株式会社**

福島支店

〒963-8005 郡山市清水台2-13-23 郡山第一ビル9F  
TEL 024-973-6151 FAX 024-973-6153

ディーゼル発電機 ガスタービン  
ソーリエネレーションシステム

**ヤンマーエネルギーシステム株式会社**

いわき営業所

〒971-8124 福島県いわき市小名浜住吉字飯塚四四一  
TEL (0246) 581-5811  
FAX (0246) 581-5688

地域産業の振興と明るく豊かな社会づくりを目指しています。

OKADA

電気設備機器と住宅設備機器のコーディネーター

**岡田電気産業株式会社**

【本社】 〒970-8625 福島県いわき市平谷川瀬字明治町27  
TEL (0246) 25-6111 FAX 25-6101

白河	TEL (0248) 27-3385
河川	TEL (0248) 72-7136
賀	TEL (024) 952-5455
山	TEL (024) 923-3298
南	TEL (024) 939-3081
郡	TEL (024) 927-0480
郡	TEL (0242) 37-2660
郡	TEL (0241) 21-8585
郡	TEL (0242) 36-5150
郡	TEL (0240) 21-2370
郡	TEL (0244) 22-5105
郡	TEL (0244) 35-1234
郡	TEL (024) 546-3700
郡	TEL (024) 553-1181
郡	TEL (0246) 28-6111
郡	TEL (0246) 62-3122

岩手・宮城・山形・茨城・栃木・群馬・埼玉・千葉・東京・神奈川・新潟  
電材営業所 66カ所  
住設建材営業所 27カ所



### 人材、安全、技術カギ

白河支部長

仁平 賢司

私たちが取り巻く環境は、再生可能エネルギーの普及、設備の高度化、人材不足の深刻化など、近年大きく変化しております。本年2026年度は、こうした変化に確実に対応し、地域に信頼される電気工事業を維持・発展させるため、「人材」「安全」「技術」の3本柱を最重要課題として取り組むことが大切だと思われま

まず「人材」では、若手の入職促進と技能継承の強化が欠かせません。働きやすい環境づくりと計画的な育成により、将来を担う技術者を確保し、持続可能な業界体制を築いてまいります。

次に「安全」については、電気工事に携わる者として最も基本であり、最大の使命です。事故ゼロを目標に、安全意識の向上と現場での確認・声掛けの徹底を進め、地域の安心を守ってまいります。

さらに「技術」の面では、EV・蓄電池・スマート設備など新しい技術への対応力を強化し、専門性の高いサービスを提供できる体制を整えるのが重要と考えま

す。本年も業界一丸となり、この3本柱を確実に実行し、地域の発展に貢献してまいります。どうぞよろしくお願



### 賢く働いて、幸せになる

郡山支部長

國津 一洋

私たちの業界を取り巻く環境は厳しさを増していますが、それは同時に、新しい働き方へと変わるチャンスでもあります。これからは精神論や根性だけで乗り切るのではなく、便利なデジタルツールや新しい仕組みを柔軟に取り入れ、「賢く働く」ことが求められています。

既存のやり方にとらわれず業務を見直したり、デジタルの力で作業時間を短縮したりすることで、現場の負担は確実に減らせます。そうして生まれた時間を、自分の勉強や家族と過ごす時間に充てる。生産性を高めた成果が、給与や働きがいとして一人ひとりにしっかりと還元される。そんな良い循環をつくるのが、次世代の担い手と呼び込む一番の近道だと信じています。

AIや再エネなど、新しい技術が次々と生まれていますが、それらを使いこなすのは結局のところ「人」です。社員が無理なく時間を使い、生き生きと働ける環境こそが、良い仕事を生み出します。郡山支部としても、会員の皆様と知恵を出し合いながら、誰もが「この仕事を選んでよかった」と思える魅力ある業界を共につくっていきたく思います。



### 新年に思う

福島支部長

大槻 博太

昨年「大阪万博」「猛暑」「米騒動」「高市女性首相誕生」と近年にない忙しい年であったと感じております。

また年末恒例の「今年の漢字」に選ばれたのは「熊」。「猛暑」の結果熊の好物であるドングリが不作となり、結果、熊は山から餌を求めて人里へ降りてくることに慣れ、市街地への出没が続き「クマ出没警報」なるものが発令される日常となり、市民にも被害が及ぶ日々が続きました。

他方人間社会の問題は、金利の引き上げから始まった諸物価の高騰！と便乗値上げ！我々建設業界でも資材の値上げはすさまじく、新築木造住宅の坪単価が100万円を越すありさま。都内のマンションは億を超える物件が当たり前のよう

に販売され、株式市場はバブル期を超え5万円相場へと上昇！しかし福島の夜は駅前をカラスが我が物顔で鳴き散らし飛び交うありさま。円安時代が長すぎた！裏では中国人富裕層によるマンション投機ゲーム、株の相場はAIの出現により外国ファ

ンドの独壇場！バブル崩壊から汗水流して立ち直った上場企業の株が外国ファン

に買い占められ、内部留保したお金はハゲタカ達の餌食になるのか？どこかおかしいね日本？

努力した者が報われない国になったの？大義のない国になってしまったの？誰もが感じているから支持率80%を維持できる。高市首相への期待は高まるばかりです。ウマく行くよう願うばかりです。

## 支部長 年頭あいさつ



### 情熱と勢いのある年に

会津支部長

佐藤 春幸

「丙」は、大地から芽が出て葉が広がった状態という意味があり「午」は、スピード・行動力・勢いや運氣を最高潮に達している状態を表しています。『丙午年』は、炎のような情熱と勢いのある年となるので、これまで迷っていた事にチャレンジすると追い風が吹き、物事が良い方向に動くと思われています。

昨年の「今年の漢字」に『熊』が選ばれました。会津地域では、熊による人的被害や作物被害が多く、弊社では倉庫脇の雑林に潜んでいたこともあり、熊出没情報等を共有し、一人作業を禁止し周囲を確認する事など熊対策に苦慮した年でした。

資器材等は価格高騰も続き、特に電線・ケーブルは昨年12月中旬で銅ベースが1t190万円と予想以上の値上がりとなり、今後も高値が続くと予想されています。また、トッランナー変圧器第三次判断基準品は、価格が既存品の2倍相当で納期が8~10カ月以上かかる事を踏まえ、発注者と受注者との協議を十分に行い、工程管理が最重要となる一年になりそうです。

本年は、建設業にはかなりハードルが高い完全週休2日制に向けた改革案をポジティブに取り組み、誠意をもってコミュニケーションを図り、自分の考えや気持ちを丁寧に言葉で周囲に伝えることで、物事がスムーズに進み良い結果が得られる情熱と勢いのある一年にしたいと思



### 社会的地位向上へ

相双支部長

渡部 昌彦

今年度より、副会長の重責を担う事となり、身の引き締まる思いで、務めさせて頂いております。去る11月6日に、全国会員大会が広島市で開催され、式典、基調講演、懇親会に参加して参りました。式典では、業界を取り巻く、様々な問題に対して、委員会より、解決へ向けた検討結果の発表がありました。

さて、当協会におきましても、いろいろな課題解決に向けた取り組みを行っております。10月29日には、建築設備3団体による意見交換会を行い、それを基に11月19日には、福島県土木部と建築設備3団体による意見交換会を行いました。主な議題は、週休二日確保工事、概成工期（総合試運転調整期間）の設定、ASP（情報共有システム）の活用、遠隔臨場の利用、現在の入札制度への要望となっております。

ご存じのように、公共工事は地域の皆様の利益や利便性を第一に考え、より良い公共施設の完成に向け、官民一体となり尽力するものです。それを成し遂げるべく、受発注者が膝を突き合わせながら、建設的な意見を交わしております。今後も、皆様からのご意見を頂戴しながら地域社会の発展と地域貢献に努め、会員企業の社会的地位の向上と経営の安定化を図って参りたいと思



### 人口減少社会の今後

いわき支部長

丹野 勇治

福島県では人口減少と生産年齢人口の減少が進行しており、電気工事業においてはその影響が顕著に表れています。

若年層の進学や就職による県外流出に加え、建設業従事者の高齢化が進み、現場を支える技術者や技能労働者の確保が困難となっております。これにより、公共工事や民間工事における慢性的な人手不足が発生し、工期の長期化や受注機会の減少といった問題が生じています。

また、災害復旧やインフラの老朽化対策等、建設需要が高い一方で、人材が不足しているため、地域の安全や住民生活への影響も懸念されています。

こうした状況への対策として、まず若年層に建設業の魅力を伝える取り組みが重要になると考えられます。高校や専門学校と連携した職業教育の充実、現場見学やインターンシップの実施、資格取得支援等により将来の担い手を育成する必要があります。また、長時間労働や厳しい労働環境の改善を進め、働きやすい職場づくりを行うことも欠かせないと思

われます。さらに、ICT施工や建設ロボット、ドローン等の技術を活用することで、省力化と生産性向上を図ることが求められると思

われます。加えて、高齢者や女性、外国人労働者といった多様な人材の活用も有効な手段であると思

われます。経験豊富な高齢技術者の技術継承や、女性が働き続けやすい環境整備、外国人労働者への生活支援や教育を行うことで安定した労働力の確保に繋がると思

われます。これらの対策を総合的に進めることで、福島県の電気工事業が持続的に発展し、地域インフラの維持と安全な暮らしを支えていくことに、諸活動を通して寄与していきたく

と考えています。

当協会は、地域社会の発展に貢献します。  
電気の使用はご安全に！

## 東北電気保安協会

福島事業本部 福島市矢野町1-22 ☎(024)526-1311  
福島事業所 福島市矢野町1-22 ☎(024)526-2111  
原町事業所 南相馬市原町区上渡佐原田432-1 ☎(0244)22-3568  
郡山事業所 郡山市富田町稲川原1 ☎(024)932-6054  
白河事業所 白河市十三原道上3-51 ☎(0248)22-6066  
いわき事業所 いわき市好間町上好間字洞42-1 ☎(0246)36-1177  
会津事業所 会津若松市町北町大字上荒久田字村北147 ☎(0242)32-3350

技術と信頼を誇る  
電気、機械の総合メーカー!!

## DAIZEN

### 大全電機株式会社

〒984-0002 仙台市若林区卸町東五丁目7番18号  
TEL(022)288-0701代 FAX(022)288-0705

高品質で省エネ LEDランプはレディオック

## LEDiOC



岩崎電気株式会社  
新住所 〒963-8071 http://www.iwasaki.co.jp  
郡山市富久山町久保田字伊賀河原34 HDビル 伊賀河原2階  
TEL(024)900-9002 FAX(024)900-9001

電線・配線器具・照明器具・開閉器・配電機器  
電線管及び付属品・電線資材一式卸

## 株式会社 トベ

宮城県岩沼市押分字南谷地86-5  
TEL(0223)25-6701

■福島営業所/福島市瀬上町字桜町3-12-3 ☎(024)553-8551(代)  
■郡山営業所/郡山市安積4-277 ☎(024)937-2462(代)  
■原町営業所/南相馬市原町区北原字本屋敷153 ☎(0244)23-6106(代)  
■相馬営業所/相馬市椎木字北原104-1 ☎(0244)35-6350(代)  
■いわき営業所/いわき市鹿島町御代字大一田1-1 ☎(0246)76-1055(代)

## 新明電材は 電設資材の総合商社です

「どこよりも安く、早く、確実に」  
確かな商品供給力でお客様をバックアップします

福島県内営業所  
いわき営業所 TEL.0246-72-1007  
郡山営業所 TEL.024-962-7015

電設資材のベストパートナー  
Shinmei 新明電材株式会社

## 一賛助会員募集一

(一社)福島県電設業協会は、顧客に高性能・高品質・高効率な設備のトータルシステムを適正価格で提供することで新しいニーズを掘り起こします。

【賛助会員の特典】

- ・機関紙をはじめ各種広報資料をお送りします
- ・名刺等の肩書きに賛助会員の表示ができます

※詳しくはホームページをご覧ください

# インターンシップ感想文

## 将来考える貴重な機会

県立小高産業技術高校 五十嵐 康太

初日は、仕事内容を説明していただき、電気工事の仕事が地域の生活を支える重要な役割を担っていることを知ることができました。

2日目は、現場を見学することができ、初めにKY活動と呼ばれている、危険を予知するための活動が行われました。また、この活動を通して、現場での安全管理が徹底していることを知ることができました。

3日目はCADを使い、図面を作成しました。しかし、線を引き際に短くなるなど、苦戦しました。

この3日間を通して、電気工事の仕事には、高い技術力だけでなく、安全への意識と正確さが求められることを学びました。今回の経験を活かし、将来を考える貴重な機会になりました。お忙しい中、ありがとうございました。

## 大規模事業へ強い思い

県立小高産業技術高校 門馬 都羽

配線作業の事や回路の組み立てなどについて細かく説明して頂き、電気についてあまり詳しくなかった私でも、興味をもって学ぶことができました。

実際の現場の作業では緊張感があり、ミスがないよう作業を行う空気感を体感でき良い経験になりました。他にも松川浦大橋のライトアップに関わっている事を知り、電気についてももっと知りたいと思いました。

最終日には木戸ダムを見学しましたが、私の想像よりも遥かに巨大でした。長い年月をかけてようやく完成したというお話を伺い、大規模な仕事であったことが想像でき感動しました。私も将来大きなプロジェクトを成し遂げたいと強く思いました。

3日間という短い期間でしたが、社会で働く大変さやその魅力、素晴らしさに気づく事ができました。貴重な体験をさせて頂きありがとうございました。

## 電気への興味ますますわく

県立平工業高校 西山 礼人

インターンシップを行う前の僕は、緊張と不安でいっぱいでした。実際の電気工事はどういった作業を行うのか、何も知らなかったからです。人見知りな部分もあるので、初めて会う人と上手くやっていけるかとても心配でした。

緊張と不安の多かった1日目は、電設業界について、三浦電気工事株式会社の説明、CADソフトを利用した住宅の照明器具選定や作図を行いました。電気工事の具体的な内容を聞いたときに、実習でやってきたことがいくつもでてきて、とても分かりやすい説明でした。住宅の照明器具を選定した時は、住宅の図面を見ながらどこに照明を置けばいいのかを考えながら、個数や値段、暗い所はないかなど考えることが多くて大変でした。

2、3日目は現場見学、体験を行いました。もうすぐ竣工を迎えるJアラポール神谷では、キュービクルの中や、ハンドホールの中といった普段は絶対にできない体験ができました。平商業では、実際に被覆むきや圧着などの作業をやらせてもらいました。自分の力不足で苦戦してしまいました。でも自分が作業をしたと自慢できると思いました。電工二種をとって他の出来なかったLEDの取り替えなどもやってみようと思いました。

この3日間を通してすごく成長したと感じました。自分の中にあった電気工事の疑問も晴れて、ますます電気に興味が高まりました。これからも勉学に励み一人前の電気工事士になれるように頑張ります。

三浦電気工事株式会社様、この度はインターンシップを開催していただき、誠にありがとうございました。そして、堀川美咲様、高山莉音様、主に3日間引率していただき、ありがとうございました。貴社のますますのご発展を心よりお祈り申し上げます。

県立二本松実業高校  
県立会津工業高校  
県立平工業高校  
県立勿来工業高校  
県立小高産業技術高校

## 責任と緊張感持って行動

県立小高産業技術高校 伊藤 悠大

まず初めに、現場で消火器の点検の仕方を教えていただきました。消火器は正しく点検しておかないと緊急時に噴射時間が短くなり勢いが足りず消火できなくなり、最悪の場合爆発する可能性があることを知り、普段からの備えが大事という事を学びました。

また、高所作業車に乗せてもらいましたが、最高地点の高さが思っていたより高く驚きました。高所のため、危険が伴う作業であり、緊張感をもって作業をすることの大切さを実感することができました。

3日間という短い期間でしたが、普段学校では学べない事をたくさん学ぶことができました。何も知らない私たちが楽しめるように多くのご配慮をいただき、会社の皆さまに感謝の言葉を伝えたいです。作業に対する責任や緊張感を持って行動することの大切さを、今後の学校生活や進路活動に役立てていきたいと考えています。

## 電気工事士目指し頑張る

県立平工業高校 野口 廉人

僕は、インターンシップを行う前、実際に企業様の元に行くのは、初めてという事もあり、少し緊張していました。ですが、入社をする日には、気持ちを整えて会社に出社する事ができました。前日は、やはり緊張もあり、夜は中々寝つけませんでした。

1日目は、防災無線の活動だったり、午後には実際の作業車に乗るなど、実際の現場の緊張感もあつたり、一つひとつの作業の大変さを知る事ができた、充実した一日になりました。

2日目は、午前中に電気・通信課さん達の元で、「LANケーブル光ケーブル」の作成を行いました。午後は、福島高専（青葉寮）の元へ行き、作業をしました。どちらも難しい作業でしたが優しく分かりやすく教えて下さったので、作業がスムーズに行う事ができました。ありがとうございました。

3日目は、平管内道路照明維持工事、送電課さんの元で、東平（変）訓練設備での練習をしました。緊張感があり、良い経験をする事ができました。

今回のインターンシップ3日間を通して、実際の現場に行つての活動や、見学をさせていただいたため、自分も人として、社会に出て行く時の学びや、人としての成長をする事ができました。また、1人だけでなく、自分以外の仲間との協力がとても大切だと気付かされました。

いわき電気工業株式会社でお仕事を勤めている社員の皆様、僕は今回の経験を絶対に無駄にする事がないように、改めて電気工事士になるためにも、学校での学習時間などの時には、集中をして、頑張ろうと思いました。3日間充実した日でした。3日間、本当にありがとうございました。



相双支部

## 電設業への理解深める 現場作業など実習

電設業の仕事に対する理解を深めた。  
同校の電気科、機械科、産業革新科A組の2年生9人が参加。青田電気商会、光洋電設、旭電気工業、旭電設工業が生徒を現場見学などを通して、の魅力を伝えた。



現場を見学する生徒ら  
29人の生徒を支部会員10社で担当。簡易的な作業体験や現場見学、CAD講習、見積りなどの作成実習、安全講習などを行った。

相双支部は令和7年10月28～30日、県立小高産業技術高校のインターンシップに協力した。生徒らは作業体験Ⅱ写真Ⅱや現場見学などを通して、の魅力を伝えた。

1年生29人が仕事体験  
いわき支部は令和7年11月12～14日の3日間、科1年生のインターンシップを受け入れ、各社がそれぞれの研修プログラムに沿って、電設業の業務や社会人の心構えなどを指導した。

現場を見学する生徒ら  
29人の生徒を支部会員10社で担当。簡易的な作業体験や現場見学、CAD講習、見積りなどの作成実習、安全講習などを行った。

## 資格取得へ意識が変化

県立平工業高校 志賀 結心

僕は、他の平工生と違つて1日だけのインターンシップだったので、入社前日はたくさんメモを取り、学んでいこうという気持ちがありました。当日には緊張やうまくできるかという、不安な気持ちもありました。

1日目には朝礼や技営部のTBMに参加や社内規則についての説明、社内見学、ビデオによる安全教育、最後には現場研修でダムの見学に行きました。朝礼と技営部のTBMに参加した時は、まだ始まって最初のことで、緊張でいっぱいでした。しかし話している内容は一緒に働いている仲間としてすごく重要なことだと思いました。社内規則で説明を聞く限り、企業のみなさんに対して厳しすぎず、むしろ良心的で動きやすそうだなという感じがありました。

社内見学ではたくさんの方の方に会い、その中には大人になってから資格を取得した人も多く、とてもすごい人達がたくさんいると思いました。ビデオでは、工事現場への安全、注意点などを見て、それがそのままダムの現場へとつながり、現場の人達もビデオで見たことをちゃんと行っていることから、さらに大事だと学び、自分もそうならなりたいと思いました。自分の将来に向けていい学びになりました。

今回のインターンシップで企業のみなさんが話をしていた資格取得についての意識が変わり、できるだけ高校生の内にたくさん取得しておきたいと改めて思いました。企業のみなさんも僕達に優しく、分かりやすく説明してくださり、とても学びのあるインターンシップでした。

土屋様、工事現場の見学(ダム維持管理)の件ではありがとうございました。僕自身、ダムにはあまり行ったことがなく、行けるだけですごくうれい事ですし、実際の現場では、簡単に解説、説明してくださりととても分かりやすかったです。常盤電設産業のみなさんありがとうございました。僕も自分の将来に向けて資格取得や勉強を頑張ります。

## 社会で必要とされる人材に

県立二本松実業高校 岩淵 恵翔

今回のインターンシップでは、学校では体験できない多くの学びを得ることができました。

初日の社会人マナー研修では、あいさつや礼儀の大切さを改めて実感し、社会人としての基本姿勢を身につけるきっかけとなりました。

2日目には外線・内線の現場を見学させていただき、高所作業車に乗る体験を通して現場での迫力や責任の重さを肌で感じました。3日目にはCADを体験し、最新の技術が実際の工事にどのように活かされているのかを知ることができました。社員の皆様が協力し合いながら一つの仕事を進めていく姿を拝見し、働くことの大変さと同時にやりがいを感じました。

今回の体験を通して、社会で必要とされる人材になるために、今の学習を大切に将来に向け努力を続けたいと思います。

## 就職試験に向けて努力

県立勿来工業高校 芳賀 遼太

私は高校卒業後、就職を考えており、インターンシップという職業体験は初めてだったため少し緊張していましたが、とても楽しみでした。今回のインターンシップを通して職業への興味をもっと深めたいと思いました。

1日目は、CAD等による設計図作成をしました。学校でもCADを使った授業をやっているのですが、私はとても苦手でした。しかし、今回インターンシップでの説明がとても分かりやすく、色々な知識を身に付けることが出来ました。

2日目は、コーティングや信号の金具の取り付けの体験をしました。コーティングは今までやったことがありませんでしたが、やり方を一回で理解することが出来ました。信号の金具の取り付けはとても難しく、思うようにうまくできませんでした。

3日目は、高所作業車に乗る体験と工場・現場の見学をしました。高所作業車に乗った時は下から見た時よりも高く感じました。工場・現場の見学では、普段教科書の写真でしか見れない変圧器の内部が見れて満足しました。

インターンシップを終えてからは、就職に対する気持ちや考えが変わるようになりました。会社で働くことの大変さがより分かりました。就職試験に向けて努力していきたいです。

今回はお忙しい中、色々な体験や見学をさせて頂き、誠にありがとうございました。今回学んだことを今後の就職活動に生かしたいと思います。そして、就職活動が終わった後も気を抜かず周りにからの信頼を持てるように頑張りたいと思います。

## 考え行動する力が大切

県立勿来工業高校 酒井 義人

今回のインターンシップで現場見学や補助作業など実際の業務を通じて、電気業界の仕組みや仕事の流れを深く理解することができました。

また現場では、コミュニケーションがとても大切だなと感じました。例えばスイッチを入れる前のかけ声や工場内でのトランシーバーを使った作業などコミュニケーションで問題を未然に防ぎ、信頼関係を築くのに欠かせないなと思いました。

また、工場での補助作業や火災報知器の点検を通して安全設備が日々の点検と整備によって支えられていることを学びました。特に火災報知器の点検では、一つ一つの小さな確認作業が大きな安全につながるという意識を持つことができ、仕事に対する責任感が高まりました。小さな確認が工場全体を守っているということを学ぶことができました。

さらにCADを用いた作業では、図面上に照明を設置したり、見積書の作成といった事務的な業務にも取り組み、実際に自分の作業が形になる喜びを感じました。これまで学校で学んできた知識を実務に活かす難しさと同時に、理論と実践をつなぐ面白さを体感できたことは、とても大きな収穫になりました。

今回のインターンシップを通して、私は「働く」ということの意味を深く考えるようになりました。これまで、職業をどこか選ぶというくらいしか考えていませんでしたが、実際に現場へ足を運び、社員と職人さんが一つの目標に向かって協力し責任を持って業務にあたる姿を見て「会社の社員の一員として貢献する」という意識の大切さに気づきました。色々な仕事でも、自分の役割を理解し、他の人との関わりを大切にしながら取り組む姿勢が求められるのだと感じました。

また自分の課題や伸ばさないといけないなと感じた点もたくさんありました。指示を待つのではなく、自分で考え、判断し行動する力が大切だなと思いました。これからは今回の経験を活かし、知識をさらに深めるとともに、実践的なスキルやコミュニケーション力も磨いていきたいと思っています。最後に3日間のインターンシップ誠にありがとうございました。

## 電設業への理解深まる

県立二本松実業高校 鈴木 煌星

私はこの3日間のインターンシップを通して、メモを取ることの重要性やコミュニケーションの大事さや電機業界の現状や課題など知ることができました。

1日目は、社会人マナー教育と電設業若手社員との座談会です。社会人マナー教育では、作田様の実体験からメモを取ることの重要性やコミュニケーションを高めるために自己紹介を実践して、社会人は学生の延長線上にあるということを改めて感じました。電設業界若手社員との座談会では、年齢が近い人達の電気工事の現場のリアルの声を聴けて、電機業界への理解を一步深めることができました。

2日目は、外線現場の見学と内線現場の見学です。外線現場の見学では、実際に高所作業車に乗る体験をしたり、電柱の立て方・抜き方を見たり、実際に現場で使われている機器を触ったりなどをして、電気に対する理解を深めることができました。内線現場見学では、実際に工事をしている建物の内部などを見学して、建物に限らず私達の生活はたくさんの人々の手によって支えられているのだと思いました。

3日目は、大槻電設工業様での現場研修です。大槻電設工業様では、実際にドローンを操縦する体験をしたり、3DCADの体験をしたりなどをして、電気業界には幅広い職種の人がいて、私たちがイメージする外の仕事だけではないのだと感じました。

このインターンシップで学んだ将来の進路選択の一つとして活用していきたいと思いました。

## 大変さ、素晴らしさ気づく

県立会津工業高校 堺 勇人

3日間のインターンシップを通して気づいたことが3つあります。

1つ目は、仕事の大変さです。私たちは3日間で多くの仕事の中から一部の仕事でしたが体験をしました。楽しさももちろんありましたが、それとともに疲労もありました。実際職に就いたら3日間で仕事が終わるわけではないので、仕事の大変さに気づきました。

2つ目は、仕事の満足感です。3日目に電灯に国土交通省のステッカー貼りを行いました。その時のことや職場の人が話していたことが、この先何十年と残り続ける物に自分の名前や会社名が残るということは素晴らしいことだと気づきました。

3つ目は安全確認の大切さです。現場に出ると高所作業車に乗ったり、使い方の間違えると危険な道具、道路上での作業もあるので車の往来など危険な要素が多くありました。そこから声を出しあって安全確認をしたり、ヘルメットや安全帯などを付け、自分の身を守ることの大切さを知りました。

3日間という短い間でしたが、私たちを受け入れて貴重な体験をさせてもらえて楽しかったし勉強になりました。

## 学びを今後に生かす

県立勿来工業高校 千葉 春樹

この度は、3日間のインターンシップを引き受けてくださり、本当にありがとうございました。出社前日は緊張していましたが、インターンシップが始まってからは、授業や実習とは違い、日々新鮮で、楽しく作業ができました。

1日目は、まず、会社紹介、働く場所、働き方や社会人とはなどの話を聞きました。また、CADの使い方の説明も聞き、自身のスキルを上げることができました。CADは不得意でなかなか上手にできませんでしたが、1日目の丁寧な説明のおかげで上達することができました。

2日目は、安全についてのビデオ鑑賞や施設見学とCAD実習をしっかり学ぶことができました。実際に起きた事故も含めて見ることができました。CAD実習でも、1日目のスキルを生かして図面を仕上げることができました。

3日目はCAD実習で、プレーカーの図面を仕上げました。プレーカーには非常に細かな部品もあり、書き写しが非常に大変でした。ですが、時間内に終わらせることができたので、3日間の集大成となりました。

この3日間全体のまとめは、自身の苦手だった内容をしっかりと学ぶことができ、成果を出すことができました。また、自分に合う仕事を見つけることの大切さや、事故防止の対策など個人の意識もしっかりとしないといけないことも学ぶことができました。今回学んだことを生かして今後の生活を変えていきたいと思っています。

最後になりますが、国府田司良代表取締役社長様をはじめ、3日間お世話になった社員様方、3日間本当にありがとうございました。今回学んだことを生かし残りの学校生活や、社会活動をより良くしていきたいと思っています。本当に3日間大変お世話になりました。ありがとうございました。

## 進路選択に役立つ経験

県立二本松実業高校 富田 夢人

この度は、3日間にわたるインターンシップに参加させていただき誠にありがとうございました。電設業について普段なら学ぶことのできない貴重な体験や見学をさせてもらい、これからの進路活動に大変役立つ経験ができました。

特に、私が今回のインターンシップで学んだことは、三つあります。

1つ目は、1日目の作田様にいただいた「社会人マナー講話」により、コミュニケーションの大切さを知りました。電設業は、単独で工事することもありますが、実際は複数の工事業者が関わって建物をつくったり、直したりします。その中で、電設業者は他の工事業者と連携を取り、工事が円滑に進めるためにコミュニケーションは必須だということがわかりました。

2つ目は、2日目の現場研修にて高所作業車に乗せてもらったり、電柱を埋めたり抜いたりする作業をみせてもらい、実際に自分がその現場で働いているところがイメージできたのでよかったです。

3つ目は、3日目に須南電設で工具の使い方の説明やツールベルトを実際につけてみて電気工事業者の偉大さや大変さを実感できました。電気工具は電気工事士の試験で見たことしかなかったのも、実物を触ったり、パイプを曲げたりする作業を体験させてもらい、この経験を友達や家族に共有して知識を広めたいです。

## 初めての経験多くやりがい

県立会津工業高校 佐原 壱

3日間という短い間でしたが、初めて体験することがとても多くやりがいを感じました。また他にも社内での充実した人間関係など学ぶことができました。この3日間は、自分の進路を決めるにあたってとても貴重な経験ができました。

3日間の中で特に学習になったことは、今までで初めて現場作業を体験し、現場で働いている方々の知識や作業をしている姿を見て、今までにない実体験ができました。その現場の中でも一日、一日、状態や状況の違う現場を見学させていただいたので、場所や状況に応じての作業内容や施工方法などが変わっていくのが、今の私にはとても新鮮な経験で、知識を深めるだけでなく、現場に応じて少し考えて行動できたと思います。

今回のインターンシップで学んだことを活かして今後の資格試験や就職活動に活かしていきたいです。

## 配線図作成実習で達成感

県立会津工業高校 五十嵐 優翔

僕は今回のインターンシップを通して様々な経験をj得る事ができました。

まずは、1日目に行った城南分署大規模工事の現場研修です。この研修では、富士工業商会さんは大規模工事でどんな役割を担当し、その仕事によってどんな事ができるようになっているかの説明を受けました。城南分署の大規模工事で富士工業商会さんは、主にセンサーや電灯などの設置工事を行っており、実際に補助作業をした時にも2階の電灯設備の設置の体験をさせていただきました。その時に装着させていただいたフルハーネスは、様々な器具が付いており、とても重かったです。そんなフルハーネスを装着しての電灯設置の体験はとても貴重な経験となりました。

次に、2日目の会津西陵高校大規模改修工事では、こちらも工事での富士工業商会さんの役割や内容を説明していただきました。会津西陵高校での工事の補助作業は、視聴覚室や美術室にある再利用するためのコンセントの解体・撤去作業を行いました。こちらも、仕事の内容はある程度簡単でしたが、意外と力強くドライバーを回さないとネジが緩まない程かたく締まっていた、思っていたよりも力を使い、疲れしました。

そして最後に、2日目の午後、3日目に行った社内研修のCAD実習です。この実習では、まず紙の図面に手書きでライト設備やコンセント設備を書き込み、完成した手書き図をもとに、PCのCAD内にある図面に書き込み、配線図を完成させるといったものです。この実習は細かく、集中力のいる実習で、意外と難しく考えることが多かったのも、かなり疲れしました。ですが、その分完成した時の達成感や満足感がとても大きかったです。

今回のインターンシップで僕は、まず現場研修での現場の皆さんの大変さやどのように現場では工事は進んでいるかを知ることができ、社内研修では、工事の前段階である設計図の作り方や大変さを知る事が出来ました。

# 県郡山合庁工事を見学

## 現場研修会 省エネ・防災技術など学ぶ

当協会は令和7年12月11日、郡山市で今年度現場研修会Ⅱ「写真Ⅱ」を開き、会員企業の技術者ら約60人が県郡山合庁庁舎整備工事現場を見学し、大規模工事現場の施工管理や省エネ、防災のための新技術などを学んだ。

現場研修会には知識や技術を共有し、施工管理や品質確保等のスキルアップを図るため、技術・安全委員会が中心となって開いている。見学に先立ち、現場事務所へ渡部昌彦副



唯氏らが工事概要や進捗状況、工法などを紹介。施設の電力使用量が細かく分かる「見える化モニター」や、雨水のトイレ洗浄水への活用により、上水使用量を削減する計画について説明した。

参加者は3班に分かれて、担当者から説明を受けながら施設内部等を見て回り、見学後に事務所にて質疑応答を行った。

新庁舎はRC+S+W造(免震構造)3階建て延べ1万814.47平方メートル。利便性等とともに省

エネルギーへの配慮を重視し、太陽光発電や地中

熱、LED照明集中制御等の導入によりZEB Ready認証を取得している。防災面では非常用発電機や蓄電池等を備え、ライフラインが断絶しても拠点機能を3日間維持できる。EV(電気自

動車)、PHV(プラグインハイブリッド車)の充電設備を3台整備し、V2Xシステムにより災害時にEV、PHVを活用した施設への電力供給が可能。今年度内の竣工を目指す。

県立テクノアカデミーは、電気設備システム科の令和8年度入学生を追加募集する。試験日程は一般入試(2次)が30日(出願期間23日まで)、同(3次)が3月18日(2月24日~3月12日)。在職者も受験可能。

現在の電気配管設備科の名称を4月から変更し、学習内容もリニューアルする。2年間で建築設備(電気設備、給排水設備、冷凍空調技術)の総合的な教育訓練を行う。

問い合わせは同校(0241-27)3221(入試担当)まで。HPでも確認できる。

電気・設備システム科の入学生追加募集

テックアカデミー

先日、青森県東方沖で発生したマグニチュード7.6の地震は、建物や道路の損壊、停電や断水などのライフラインへの深刻な被害をもたらしました。私の住む相馬市でも2022年3月に震度6強の激しい揺れを経験し、多くの傷跡が残りました。各地で災害が起きるたびに、当時の記憶が蘇り自然災害の怖さを痛感します。

今回、運用開始後初めて後発地震注意情報が発表されました。初めて耳にする言葉とTV画面に流れ続けるテロップに、何事かと不安が募りましたが、これは、次の大きな揺れへの警戒を促し、避難の準備や命を守るための備えを再確認しましょうという呼びかけでした。

記憶は薄れ、以前の教訓を次の災害に活かすことは口で言うほど簡単ではありません。ならば、「防災」を特別な準備と身構えるのではなく、「備え」を日常の中に取り込みながら今後の災害に備えていきたいと思えます。(広報委員、高木数泰)

編集後記

# 働き方改革さらに推進

## 県建産連 ROO予算 自民党、国交省へ要望

県建設産業団体連合会(県建産連)は令和7年12月4日、自民党県連の8年度政府予算要望活動に参加し、自民党本部と国土交通省に對して、公共事業予算の安定・継続的な確保や東日本大震災被災地特例措置の継続などを要望。働き方改革のさらなる推進に向け、適正工期確保と業務効率化の必要性を改めて訴え、民間工事における一層の対策強化も求めた。施工時期の平準化は4、5月に十分な施工量が確保できるよう発注

時期を前倒しするように要望した。労務単価や物価上昇の考慮も求めた。

働き方改革は、地方公共団体を含めた全公共事業で、週休2日を前提とした適正工期の確保や、各発注者間の提出書類共通化、書類簡素化、工事検査の効率化、建設DXの活用など、さまざまな観点から労働時間削減に取り組むよう訴えた。

適正工期の確保に向けては、発注・施工時期の平準化のほか、設計労務単価の引き上げと調査方式の抜本的な見直し、予定

分割発注やJV方式を例に挙げ、国発注の大規模工事等について県内企業を活用するよう要望。福島国際研究教育機構(FIREI)の施設整備では、元請以外でも積極的に地元活用に取り組みよう求めた。

▽郡山支部 三瓶良幸 (太陽電設株) 昭和41年生



新会員紹介  
**星 電 設**  
代表取締役  
星 和典

お世話になります。弊社も創業63年になります。私も自身、社長に就任し

これから24年になります。それでもまだまだ未熟者です。今回協会への入会を機に一層精進し、社会貢献のできる会社になりたいと思えます。

弊社の業務内容は、内外線を主に電気設備工事全般です。ベトナムハノイに現地法人を設立し電気設備工事を行っています。

今後とも皆様方のご協力ご支援をよろしくお願い致します。

要望は①公共事業予算②復旧・復興工事の円滑化③働き方改革の推進④適正な利潤の確保⑤大規模工事等における県内事業者の元請企業としての活用⑥5項目。

公共事業予算は、復興予算に加え、通常予算枠も減少している本県の現状を踏まえ、地方創生のための社会インフラ整備や老朽化対策に必要な予算等を求め、特に中山間地域への重点配分を要請

した。労務単価や物価上昇の考慮も求めた。

働き方改革は、地方公共団体を含めた全公共事業で、週休2日を前提とした適正工期の確保や、各発注者間の提出書類共通化、書類簡素化、工事検査の効率化、建設DXの活用など、さまざまな観点から労働時間削減に取り組むよう訴えた。

適正工期の確保に向けては、発注・施工時期の平準化のほか、設計労務単価の引き上げと調査方式の抜本的な見直し、予定

機能アップ

- ブレーカ探査
- ケーブル探査
- 埋設線探査
- 漏電点探査(死線)
- 回路電圧表示

Superラインチェツカ TLC-C形

T.gami 株式会社 戸上電機製作所 東北オフィス  
TEL 022-295-5571 FAX022-295-5573

未来のダイナミックなテクノロジーに応える

### ワイムの配電盤事業

配電盤、動力盤、分電盤メーカー

**株式会社 ワイム**

ISO9001取得  
ISO14001取得

[本社・山形工場] 山形市立谷川四丁目1318-5 [千歳工場] 北海道千歳市泉沢1007-72  
TEL.023-686-4316 FAX.023-685-1011 TEL.0123-28-3377 FAX.0123-28-3379  
[福島営業所] 福島市吉倉吉田119-1 TEL.024-546-1321 FAX.024-546-1322 https://www.yamagatadenki.co.jp

おかげさまで 100周年

100th Anniversary 1925

電設資材総合商社

## 初瀬電材株式会社

本社: 郡山市喜久田町卸一丁目45番地1  
電話024-959-6300 FAX024-959-6309  
いわき営業所: いわき市平谷川瀬三丁目25-2  
電話0246-23-9223 FAX0246-23-9230

TOSHIBA

照明器具・LED光源・配線器具

## 東芝ライテック株式会社

郡山営業所

郡山市桑野4-2-2 TEL: 050 (3033) 6510  
http://www.tlt.co.jp/

配電盤 制御システムメーカー

FURUKAWA

## 古川電気工業株式会社

郡山支店

支店長 小野寺 優

福島県郡山市若葉町11-23 ☎ (024) 934-0859  
FAX (024) 934-0861

本社/仙台市宮城野区扇町2-1-10  
仙台工場/仙台市宮城野区扇町2-1-10  
支店・営業所/北日本・仙台・東京・横浜・関西・栃木・名古屋

URL: http://www.towagp.co.jp/

## 東和電機工業株式会社

受配電制御システム設計製造  
中央監視システム設計  
各種プラント制御システム  
空調・衛生計装制御盤の設計製造  
新エネルギーシステム関連事業  
コ・ジェネレーションシステム関連事業  
認定キュービクル・耐熱形分電盤設計製造

郡山営業所  
〒963-8025 郡山市桑野3-19-8  
コーボ山1F  
TEL.024-933-3299 Fax024-934-5178

Challenge & Creative  
**TOWA**